

標準病名更新DB

■ 概要

- ・病名のレセ電算コードの移行およびICD10コードの変更に対応し、旧コードを最新コードに変換するデータベースです。

■ 特徴・機能

- ・財団法人医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）が提供する「ICD10対応標準病名マスター」の2008年1月1日以降の更新情報をもとに作成しています。

■ 目的・利用場面

- ・医療機関様のホストコンピューターに登録されている病名のレセ電算コードもしくはICD10コードが旧コードである場合に、最新コードに変換することで、チェックに対応させることができます。
- ・過去の解析データなどにおける病名の旧レセ電算コードや旧ICD10コードを、最新コードに変換してデータ活用することができます。

■データ例

標準病名更新データテーブルのデータ（概略）

旧レセ電算コード	旧病名表記	移行先レセ電算コード	移行先病名表記	更新日付
4530006	一次性肝外門脈閉塞症	8851732	原発性肝外門脈閉塞症	20250601
4530007	二次性肝外門脈閉塞症	8851750	続発性肝外門脈閉塞症	20250601

ICD10訂正データテーブルのデータ（概略）

レセ電算コード	病名表記	旧ICD10コード	新ICD10コード	更新日付
9590053	頸椎損傷	S141	S199	20230101
3626004	二次性網膜変性症	A514	H354	20230601